

都立中央図書館の在り方の概要

検討の背景

都立中央図書館の施設で老朽化が進行。また、DXの進展など社会環境の変化や、海外の図書館等で従来の閲覧提供機能に加え、新たな価値や機能を提供していることを踏まえ、再整備を見据えて新たなコンセプトや機能等を検討

社会環境等の変化

- 都市課題のグローバル化やDXの進展等
- 北欧の図書館等で文化的な対話の場、多様な学びの場など新たな価値や機能を提供

世界の図書館の潮流

デジタル技術を活用した展示や創作活動の場の提供

- デジタル技術を活用した大型スクリーン展示。デジタル工作機器による創作
- 利用者同士の対話・交流や、様々な分野・情報に触れて学ぶ機会を提供**
- ワークショップなどを開かれた場所で開催。イベントや講演会、展示などを常時実施



大型スクリーンによる展示



利用者同士の対話・交流

新たな都立中央図書館について

デジタル社会におけるリアルな図書館の意義は、本から必要な情報を探すことにより物事を俯瞰できたり、偶然手にした本から多様な情報が得られ、意外な発想や新たな発見を生むことにある

コンセプト

「Library for Creation（創造・交流図書館）」 図書館を新たな智を生み出す空間と捉える

新たに付加する機能

知的好奇心を喚起し学びを深める

- 子供や障害者など、多様な人々が気付きを得る体験をする
- 所蔵資料を基にした学びや体験をする

人々の創造や交流を生み出す

- 多様な形で、人々が創造に取り組むことができる
- 人々が交流し、気付きや思索のきっかけを得る

多様な知を集積・発信

- 活字の本、音楽や映像、人も含めた多様な形態の知が集まり、発信していく

3点の機能が、相互に作用・循環することで新たな智の創造につながるものとする。

- 具体的な取組に当たっては、3点の機能を貫くテーマで事業を実施し、調査研究への貢献という従来の強みを生かしたサービスを展開
- 従来の強みについても、魅力的な開架・閲覧空間の提供、アクセシビリティの確保などにより進化

施設整備の基本的な考え方

- 現地改築では解体・新築工事に伴う休館等により十分なサービス提供が不可能であることなどから、移転して実施
- アクセスが良く、多くの人々が行き交い、周辺に教育機関が集積し様々な活動が展開されている神宮前五丁目地区の公有地に整備
⇒ 当該地区に集積予定の多様な機能と連携しながら、東京全体の智の向上を図る